

セ試志願者数は、 4年連続減となる54.9万人前後か！？

—出願締め切り時点の志願者数は52万9,000人—

旺文社 教育情報センター

18年10月13日

新課程入試2年目となる19年センター試験の出願受付が、10月13日締め切られた。大学入試センターから発表された、同日17時現在の出願状況は以下のとおりである。

●出願総数	528,898人(533,102人；-4,204人、0.8%減)
<内訳>	
○高等学校等卒業見込者 (高等学校等経由出願)	424,579人(419,545人；+5,034人、1.2%増)
○高等学校卒業者等 (個人直接出願)	104,319人(113,557人；-9,238人、8.1%減)

(注) 1. ()内は、前年締切日(17年10月14日17時現在)の志願者数、及び増減数と割合を示す。
2. 18年10月13日の消印まで出願を受け付ける。
3. 消印有効分を含めた出願総数については、11月上旬、確定志願者数については12月上旬に発表される予定。

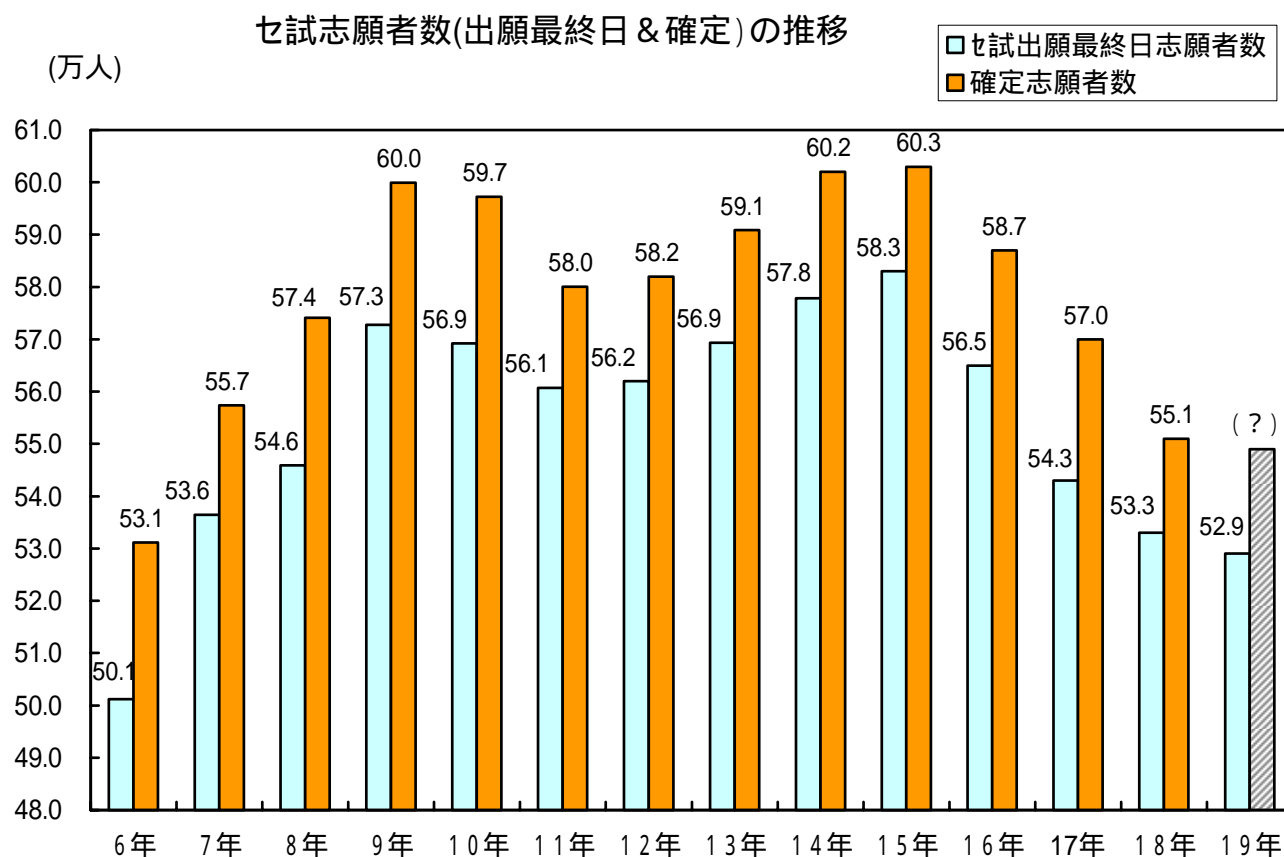
- 最終的な志願者数は、今後消印有効分の2万人程度が加わり、54万9,000人前後になるとみられる。これは、4年連続の減少で、18年の55万1,382人の約0.4%減となる。
- 高等学校等卒業見込者(現役)の志願者数は、18年より5,034人(1.2%)の増加。18歳人口・高卒者数が約2%減少することが見込まれる中で、1%以上の増加だ。
これは、現役の大学進学率アップが見込まれている中で、私立大のセンター試験参加増(11大学53学部増の451大学1,232学部)と短大の参加増(17短大増の150短大)に加え、国立大の9割、公立大の4割がセンター試験5教科7科目以上という多数科目負担を敬遠し、少数科目の私立大センター試験利用入試へ流れる現役志願者層の拡大などが原因としてあげられよう。

19年の18歳人口は、18年より2万6,000人(2.0%)の減少、高卒者数は2万3,000人(2.0%)の減少がそれぞれ見込まれている。また、大学受験者数(実数)も18年より1万9,000人(2.7%)減の67万2,000人、短大は9,000人(10.1%)減の8万人程度とみられる。

- 一方、浪人等は9,238人(8.1%)減で、減少率は18年より4.7ポイント下がったが、16年から4年連続の減少である。浪人の減少は、受験生数の減少に加え、一部の難関大学・学部を除き、全体としてはさらに“広き門”となり、浪人を生む素地が一段と縮小していることによろう。

次の図に、センター試験出願最終日と確定の志願者数の推移(図1)、センター試験を利用する私立大・短大数の推移(図2)をそれぞれ参考までに掲載した。

(図1)



(図 2)

